



株式会社菅原組

社内報

vol. 3

2019年12月号

おかげさま

VOL.3

2019年12月号

工事本部 工事部 工事係

竹内 優誠



入社の経緯

土木のつかいモノを作るといふスケール感に憧れて、高校は土木の学科に進みました。

高校を卒業したら土木の世界で働きたいと思つて会社を探していたところ、菅原組の求人を目にして試験を受けました。面接では、当時の専務や社長とお話をしてご縁があつて入社しました。

業務内容

仕事は現場の施工管理をしています。内容は、設計図書を見て工程を考へて、関係する人たちと打合せて施工を進めていきます。図面には施工するものの大きさや位置が書いてあるので、間違いないように確認します。どういう作業の時にどんな機械を使うかなどを考へて、協力会社や上司と協議・決定の上、現場に反映させます。

仕事に対する姿勢

全ての仕事を一生懸命、自分の力を全て出していることを意識しています。

まだ経験年数がそんなに長いわけではないので、全部しつかり記憶に残してまた次の仕事に

活かそうという姿勢で臨んでいますね。工事によつて全く内容が違ふので、どれも勉強になります。

失敗談

入社したばかりの頃は、自分であまり勉強もせず、知識不足で臨んでしまつて失敗したこともありました。今はその反省を活かして準備万端で仕事に取り掛かるようにしています。

今後の目標

目の前の仕事を一生懸命こなして頑張りたいと思います。経験年数を踏んで、早く一級土木施工管理技士資格を取得したいです。

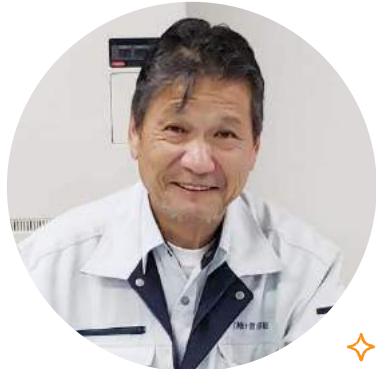


▲中嶋さんと測量する竹内さん

部の紹介

工務部部長

菊池 茂春さんに
聞きました!



部の自慢 ～工務部の仲間たち～

部員は、船乗りなので気性は荒いが根は優しく素直で個性豊か、そしてまじめでみんな頑張り屋です。

寒い雪の日にも夏の暑い日にも負けない丈夫な身体で、大変な仕事にも弱音を吐かず、決して投げ出すことなく、いつも黙々と仕事をこなしてくれます。

天候が悪くて仕事が出来ない時には機械のメンテナンスをし、モノを大事するという心を養っています。

新人がいれば早く一人前になれるように丁寧に仕事を教えてあげるような、優しい所もあります。

そして機動力もあって、何よりも一人一人が一生懸命に仕事をしています。

決して楽な仕事ではありませんが、大変だからこそそのやりがいがあり、工事が終わった時の達成感は大きいです。

これが工務部の自慢であり、部長菊池茂春が誇りに思うことです。

船紹介コーナー



▲第七すがわら号



▲第十すがわら号



▲第十一すがわら号



▲第十八すがわら号



▲70tラフタークレーン

《工務部》

それぞれの部門で個性を発揮する仲間たち。そこではどんな業務が行われているの? 自慢できるところは? 知っているようで知らない、みなさんの職場の様子を探ってみましょう!

概要

工務部は現業部門の一つで船舶課と重機課を統括管理しています。

経営資源として、船舶課は、北海道最大級 400t 吊起重機船第十八すがわら号、210t 吊起重機船第七すがわら号、120t 吊起重機船第十すがわら号、スパッド式バックホウ台船第十一すがわら号の4船を所有しています。

重機課では、主に 120t クローラークレーン、70t ラフタークレーン、ポンプ車などを所有しています。

主な業務

工務部の主な業務は、起重機船団により消波ブロックの据付や浚渫作業などの海上作業を行うことです。

工事場所は、道内、東北、関東方面などで受注した工事の工程に合わせた配船を求められ、そのやりくりが「難しい」業務です。

船舶の配船、重機の配車のほか、民間企業への営業、見積り、原価管理、工程管理、安全管理など多岐にわたります。

一度取り引きした会社にはリピーターになってもらえるように安全に早く終わるように日々努力しています。



独自の取組み

2017年12月に就航した新造船第十八すがわら号は、環境のことを考えてハイブリッド蓄電システムを導入し、余剰電力を蓄電池へ充電し、停泊時には蓄電池からの電力で賄います。(他船は発電機を使用)

ちょっと自慢なところ

80t級の大型ブロックまで対応できる特殊な3本爪バケットを所有しています。(第十八すがわら号に搭載)

水中から大型ブロックを吊り上げる作業では、潜水士がワイヤーを掛けることが難しく危険を伴うため、3本爪バケットで安全に早く吊り上げることが出来ます。

TOPICKS

8月には若さとやる気満々の菅原健太郎さんが入社し、より一層活気づいています。

CHECK!

現場レポート

1

あんな現場やこんな現場、あなたの知らない現場や事例について
このページで紹介しちゃいます!



現場名

都市計画道路3・4・110号中道四稜郭通舗装道新設工事(擁壁工)

着工日

令和元年5月29日

完成予定日

令和元年12月25日

メンバー

工事部

ミズ シマ マサ ユキ

水島 雅幸さん



概要

交通混雑緩和のため、新しい道路を作るための擁壁工事。

擁壁工 施工延長 82.7m

副道 施工延長 36.0m 施工幅員 6.00m

作業に当たり気をつけるポイント

高所での足場作業が多いので、特に転落防止に気を付けています。

市街地で現場も狭く、勾配があるため、作業計画作成に苦慮しました。



大変だった所

擁壁がスパン毎に段差があり、終点側にカーブもあり、測量が大変でした。

また、人手不足やダンプ不足により、材料が計画通りに入らないことが多かったです。

そして交通誘導員不足で、安全管理も大変でした。

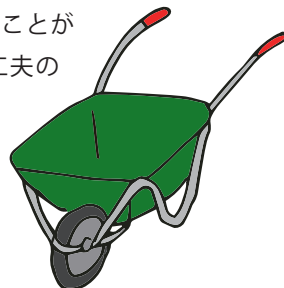


作業にあたっての感想

久々の現場担当であり、これまでの経験を生かしてやってきましたが、現場の進め方に苦慮しました。

狭い現場で障害物も多く、効率の悪いやり方しかできず、計画通りに進められないことが多くて困ることもありましたが、工夫のしがいのある面白い現場でした。

現場周辺は自然がいっぱいで四季折々の景色を見られて楽しかったです。



CHECK!

現場レポート

2

▲平成 28 年 2 月 第十すがわら号で石材を運搬し仮設の道路を…

現場名

只出漁港海岸災害復旧(防潮堤)工事

着工日

平成27年8月1日

完成予定日

令和2年3月19日

メンバー

工事部 フクハラ ナオキ
工事係長 **福原 直樹** さん
工事部 ナカジマ ケンイチ
主任 **中嶋 憲知** さん
工務部 イシト マサヒロ
重機係長 **石戸 雅洋** さん

工事部 マツダ コウヘイ
工事係長 **松田 浩平** さん
工事部 タケウチ ユウセイ
工事係 **竹内 優誠** さん



概要

東日本大震災により被災した只出漁港海岸全域の防波堤や道路施設を取り壊し、高潮・津波対策として総延長928m、高さ10.9mの大きな防潮堤本体と陸間や水門などの付属施設、臨港道路などを復旧整備する工事。

土工、法面保護工、地盤改良工、本体工（水中コンクリート・重力式擁壁）陸間4基、水門1基、階段4基、被覆根固工、構造物撤去工、埋立造成工、仮設防波堤工、既存施設復旧工、市道復旧工、乗越道路工（補強土壁工）



▲令和1年5月
仮設道路撤去前に水中部をブロック保護がっちり！



▲平成28年11月
高さ10.9m、防潮堤コンクリート始めました。

作業に当たり気をつけるポイント

施工量がとても多く、油圧ショベルによる土工作业やクレーンによる重量物吊り作業、高所での型枠やコンクリート作業がメインとなっております。各施工班が手分けして作業しており、工程や品質管理はもとより危険の多い現場なので、特に安全管理に関しては協力業者とコミュニケーションを取り合いながら、事前打合わせや創意工夫などで意識や雰囲気高め、安心・安全でスムーズに作業できるよう努めています。また、当社の「自然に優しく、人に優しく」というモットーのもと、環境改善に取り組んでいます。



作業にあたっての感想

とにかく現場が大きく、メンバー全員が経験した事のない規模だったので、不安と緊張がありましたが、どうしたら安全で早く、高品質な物づくりができるかをメンバーで話し合い、検討を重ねて来ました。そして工事が進むにつれ「この現場は成功する！」と確信し、不安から自信に変わりました。考え方や判断が食い違う事もありましたが、**より良い仕事の追求と生産性の向上**という共通認識で違いを尊重しあい、社是の「誠実・忍耐・努力」と、社風の「和」を心掛け、チーム一丸となり完成を目指しています。



教訓

～全力で考え得る全てを出し切れば、どう転んだってプラスになるということを学んだ～

出典：「俺か、俺以外か。ローランドという生き方」

こんな活動、知ってた!?! 貢献活動レポート⑪



令和元年度 南かやべ森と海の会 秋季植樹事業への参加

日時 2019年11月2日（土）
参加者 菅原社長、菅原峻、泉、山登、
児玉、大鷲 来賓含め37名
場所 函館市大船町 史跡大船遺跡

15年目を迎えた会。初期に植えた地区である大船遺跡ですが、縄文世界遺産登録に向けて、函館市教育委員会文化財課から史跡大船遺跡への植樹要請があり、南茅部地区の盛り上げにも一役買おうと例年とは場所を変えて実施。

植樹する木は、縄文時代にも生育していたであろうことを考慮してヤマグリを選定。今回は点在する箇所に40本植え、鹿などの食害を防ぐために支柱を立てて防護管をかぶせる作業をしました。

感想

会の方針である「長く続けるために無理せず、仲良く、楽しく活動する」ということもあり、毎回楽しく、また、その地域の方の話も聞ける良い機会でもあります。今回は、縄文世界遺産登録にも寄与する活動に参加出来て非常に良かったです。今後も、森と海の会の活動に参加しながらその思いを受け継いで、ぜひ他の地区でもこういった活動ができるように取り組んでいきたいと思えます。

植樹活動のあとに食べた昼食の鮭いくら丼ときのか汁と三平汁がとても美味しかったです!



当社で活動している社会貢献の内容について、このページでどんどん紹介していきます! 要チェックお願いします!



今後に向けて

海の菅原組として、海と山に橋をかけるように双方を良くしていくことで、地域環境を良好に保とうという環境目標を体現する活動として参加しています。森と海の会では今回の植樹だけではなく、栗の木公園の草刈り事業など年間を通して様々な活動をしています。これからも継続して活動に参加して地域貢献に努めていきましょう。みなさんご協力お願いいたします。

貢献活動レポート②

★ 万年橋小バザー

日 時 2019年11月16日（土）
 参加者 菅原組 6名（サンサン運動参加者+若山部長）
 松本組 5名
 田中組 4名
 場 所 函館市立万年橋小学校



【スケジュール】

9：00～集合、準備開始
 10：00～13：00バザー

感想

今回は学校保護者からの依頼もあり、地域の中で認知度が上がってきていることが大変うれしく感じました。
 急遽、若山部長にも応援いただけたことも大変うれしかったです。また、地域水産品を知ってもらう企画として、昆布製品やブリの燻製、松前町の方が作ったウニ塩を売るブースを大鷲さんに担当してもらい、かなりの数を販売することが出来ました。
 好評なブリ燻、ウニ塩の売れ行きを見ると、昆布もその場で食べられる何かがあったら良かったなと思います。
 なによりも、今回は町内の建設会社三社に声をかけたところ、一緒に参加展示できたことが大きいと思います。これからも町内の企業とのつながりづくりも行っていき、さらに教育機関との連携も図りながら、良い会社がある良い地域と感じていただけるように動いていきたいです。

今後に向けて

今回の活動を機に、地域の方から冬場に雪遊びをする場所を重機で作れないかなどの問い合わせが来ています。実現できるように動いていきます。その前にまずは自分も車両系の資格を取り、船舶職員にお手伝いで休日出勤しなくてもいいようにしていきたい。次年度以降もバザー出展は続きそうなので、皆様にご協力頂き、または是非次回遊びに来て頂けたら嬉しいです。

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

12月生まれの皆さんをご紹介します。

12/7 工事本部工事部 課長
 さ さ き まさ き
 佐々木 政喜さん

12/13 工事本部工事部
 たけうち ゆう せい
 竹内 優誠さん

12/13 工事本部工務部 第十八すがわら丸
 すず き みつぐ
 鈴木 貢さん

12/15 管理本部
 み うらきょう か
 三浦 杏香さん

12/19 工事本部工務部 第七すがわら丸
 うじ いえ たか ひこ
 氏家 尚彦さん

12/23 工事本部工事部 課長兼大船渡営業所長代理
 きたばたけ てつ じ
 北畠 哲治さん

12/24 工事本部工事部
 お がさわら ひじり
 小笠原 聖さん

12/25 工事本部工務部
 すがわら けん た ろう
 菅原 健太朗さん

12/27 工事本部工務部 第十八すがわら号
 あ べ ふみ お
 阿部 文男さん

12/29 工事本部工事部 係長
 まつ だ こう へい
 松田 浩平さん

